

## 2 個別事業評価調書

団体名: 笠置町

<b>事業名</b>		防災備蓄品整備事業			
<b>事業の概要</b>		地域や立地状況を照らし合わせ、もしもの事態を想定することは行政として不可欠であり、その整備を常日頃から行う必要があります。そのため、笠置町では昨年度に安心・安全なまちづくり事業として防災・水防備蓄倉庫を新たに整備設置しました。 本年度はこの備蓄倉庫の備蓄品の充足を図るべく、非常時の住民配布用の非常食を購入・備蓄しました。			
		<b>事業期間</b>	平成20年9月1日～平成20年9月16日		
		<b>総事業費</b>	211千円	<b>本年度事業費</b>	211千円
<b>事業評価</b>	<b>事業の必要性</b>	災害時にライフラインが復旧する期間を想定し、現在備蓄のない住民配布用の非常食を蓄えておく必要があります。			
	<b>事業の有効性</b>	非常食を、当町の主要道路である国道163号線沿いに設置した防災・水防備蓄倉庫に備蓄することにより、非常時の対応を最大限に高めることができます。			
	<b>事業の効率性</b>				
	<b>具体的な成果</b>	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 本年度非常食として960食分を購入・備蓄することによって備蓄品の充足が図られ、住民の災害時の不安を解消し、安心・安全なまちづくりに繋げることができたと考えます。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。